デイリー・コーポレートアクション・レポート

東証上場企業の主な開示

2026年11月5日（木）　発行：ていネコの投資ノート

本日のポイント

- トヨタ自動車が自社株買い枠を1兆3,000億円（発行済株式の5.18%）に広げ、今年3〜4月に続く自己株TOB（1株2,725円、11月6日〜12月7日）を決めた。損保4社が手放す政策保有株を受け止めるための買付けで、価格は市場株価より大幅に安く、一般株主が応募する場面は想定しにくい。
- 今回確認できた範囲では、新しい非公開化TOBや経営統合の公表は見当たらなかった。決算発表に合わせた株主還元（自社株買い・株式分割・増配）が中心の1日だった。
- TOB期間中のサンケイリアルエステート投資法人（期限11月10日）に、PEファンドが現在の価格を5%以上上回る対抗提案を検討する意向を示した。応募を検討中の投資主は、期間延長や条件変更の開示に注意したい。

1．本日の主な開示

種類	コード	会社名（市場）	概要	株主への影響
自己株TOB・自社株買い枠の拡大	7203	トヨタ自動車（プライム）	取得枠を5億株・1兆円から6億1,000万株・1兆3,000億円へ拡大。自己株TOBは1株2,725円、買付予定数1億875万741株（所要資金約2,964億円）、期間は11月6日〜12月7日。消却の上限は12億株へ引き上げ。13時55分公表	応募しない場合、手続きは不要。TOB価格は前日終値より10.0%安い（筆者算出）。需給の改善と1株あたり価値の向上につながる
TOB（対抗提案の動き）	2972	サンケイリアルエステート投資法人（REIT）	シティインデックスフィフスによるTOB（1口125,000円、期限11月10日）の実施中に、PEファンドから「125,000円を少なくとも5%上回る価格」での非公開化を検討するという意向表明書（法的拘束力なし）を受け取った。投資法人は賛同と応募中立を維持	価格が上がる可能性はあるが、提案は確定していない。応募するかどうかの判断材料が増えた
株式分割・増配	9324	安田倉庫（プライム）	1株を2株に分割（基準日12月31日、効力発生1月1日）。中間配当を37円から39円へ、期末予想は分割後19円50銭（分割前換算39円）。優待の保有株数の区分は分割に合わせて調整	手続きは不要。最低投資金額がほぼ半分になる。優待の実質的な内容は変わらない

※ 決算と同時に公表された通常規模の自社株買い（東ソー、参天製薬、グンゼなど）は対象外。大阪製鐵の自己株TOB（11月4日公表、2,100円）は本日買付けが始まったため、4. の日程に載せた。

2．注目案件の解説

トヨタ自動車（7203）：今年2回目の自己株TOB、損保の政策保有株を受け止める

何が決まったか：8月に決めた自社株買い（取得期間は2027年8月4日まで）の上限を、6億1,000万株・1兆3,000億円に引き上げた。その一部を自己株TOBで取得する。トヨタの自己株TOBは、3,067円で実施した今年3〜4月（買付期間3月31日〜4月27日）に続くもの。今回の買付予定数は1億875万741株（発行済株式の0.92%）で、予定数を超える応募があれば按分する。これとは別に、三井住友海上、東京海上日動、損保ジャパン、あいおいニッセイ同和の4社が応募を予定している（4社の応募予定株式数は会社開示を参照。買付予定数と同じではない）。

条件：TOB価格は2,725円。11月4日の終値3,028円と過去1か月の平均3,030円のうち低い方から10%を割り引いた価格で、前日終値より10.0%安い（筆者算出）。本日はTOBとは別に通期の業績予想を引き上げたこともあり、株価は終値3,533円（+16.7%）まで上昇した。TOB価格はこの終値より22.9%安い（筆者算出）。買付期間は11月6日〜12月7日（月）。

株主がとれる対応:応募しない場合、手続きは不要。価格は市場株価より大幅に安いため、一般株主が応募する利点は乏しい。なお、自己株 TOB に応募して受け取る代金の一部は「みなし配当」として課税される。

論点・注意点:政策保有株の売却が市場で行われれば株価の重荷になるが、会社が引き取ることでその影響を抑えられる。消却の上限が 12 億株(8.22%)まで広がった点もあわせて、今後の消却のペースに注目したい。

サンケイリアルエステート投資法人(2972):TOB の期限直前に対抗提案の動き

何が決まったか:11 月 5 日付で、国内外に実績のある PE ファンド(A 社)から、TOB とスクイーズアウトで非公開化することを検討するという意向表明書を受け取った。最終提案は、資産の精査(デュー・ディリジェンス)と投資委員会の承認を前提に、11 月下旬以降になる見込み。

条件:現在の TOB 価格は 1 口 125,000 円(9 月 25 日の終値 107,200 円に対するプレミアムは 16.6%)。A 社は少なくとも 5%上乗せした価格を示しており、計算上は 131,250 円以上となる(筆者算出)。現在の TOB 期間は 9 月 28 日~11 月 10 日(火)。

株主がとれる対応:応募するかどうかは投資主の判断に委ねられている(応募中立)。すでに応募した場合でも、TOB 期間中であれば契約を解除できる。期限が近いため、期間延長や価格の見直しに関する開示を確認してから判断したい。

論点・注意点:意向表明書には法的拘束力がなく、正式な対抗 TOB になる保証はない。今年 1 月にも別の陣営による TOB が成立しなかった経緯があり、今回の TOB が成立するかどうか(買付予定数の下限は 118,732 口)も含めて、不確実性が高い。

安田倉庫(9324):1 対 2 の株式分割と増配

内容と株主への影響:12 月 31 日(木)を基準日として 1 株を 2 株に分割する(株主名簿管理人の休業日にあたるため、実際の基準日は 12 月 30 日)。権利付最終日は 12 月 28 日(月)の見込み(筆者算出)。手続きは不要。年間配当は分割前に換算して 74 円から 78 円への増配予想。優待は「200 株以上」などに区分を調整するだけで、実質的な内容は変わらない。

3. 上場廃止・整理銘柄の動き

本日新たに決まった上場廃止や整理銘柄の指定は確認できなかった(JPX の上場廃止銘柄一覧は 10 月 30 日更新時点)。今後 1 か月以内に上場廃止となる主な銘柄は次のとおり。

上場廃止日	会社名(コード)	市場	理由
11 月 11 日(水)	アールビバン(7523)	スタンダード	MBO(TOB の後、株式併合)。売買最終日は 11 月 10 日
—(売買最終日 11 月 20 日)	i シェアーズ MSCI ジャパン SRI ETF(2851)	ETF	信託期間の終了(11 月 25 日)
12 月 1 日(火)	光・彩(7878)	スタンダード	会社の申請による上場廃止

※ 監理銘柄では、11 月 1 日付でプロレド・パートナーズ(7034)とトップカルチャー(7640)が上場維持基準に関する確認中として指定されている。

4. 今後の主な日程

日付	会社名(コード)	内容
11 月 5 日(木)	日本抵抗器製作所(6977)	TOB 期間終了(フェローテック、1,901 円)
11 月 5 日(木)	大阪製鐵(5449)	自己株 TOB の買付開始(2,100 円、12 月 3 日まで)
11 月 6 日(金)	トヨタ自動車(7203)	自己株 TOB の買付開始(2,725 円、12 月 7 日まで)
11 月 10 日(火)	アルビス(7475)	TOB 期間終了(ライフコーポレーション、3,780 円)
11 月 10 日(火)	HYUGA PRIMARY CARE(7133)	TOB 期間終了(MBO、2,110 円)
11 月 10 日(火)	サンケイ RE 投資法人(2972)	TOB 期間終了(125,000 円)※延長・変更の可能性あり
11 月 10 日(火)	アールビバン(7523)	売買最終日(11 月 11 日に上場廃止)
11 月 11 日(水)	プロジェクト HD(9246)	TOB 期間終了(テクノプロ系、2,200 円)

日付	会社名(コード)	内容
11月12日(木)	カカクコム(2371)	EQT系TOB期間終了(3,683円)※延長が10回続いている
11月13日(金)	かどや製油(2612)	TOB期間終了(2,514円)
11月18日(水)	キーエンス(6861)	株式分割(1株→5株)の権利付最終日
11月20日(金)	iシェアーズ MSCI ジャパン SRI ETF(2851)	売買最終日

※ 証券会社の応募受付の締切は、TOB期間の最終日より早いことがある。

5．用語の解説

自己株TOB(自己株式の公開買付け):会社が自分の会社の株式を、価格と期間を公表して株主から買い取る方法。特定の大株主(持ち合い先など)からまとめて買い取るときに使われることが多く、市場株価より安い価格(ディスカウント)に設定するのが一般的。

応募中立:TOBの目的には賛成(賛同)するが、TOB価格が妥当かどうかについては判断を示さず、応募するかどうかを株主に委ねるという、対象会社の意見表明の形。

本レポートは、2026年11月4日18時ごろから11月5日18時ごろまでに、ウェブ検索等で確認できた開示を整理したもので、全開示を網羅したものではありません。特に本日15時以降の開示は検索への反映が遅く、取り上げられていない案件がありえます。

プレミアム／ディスカウント率、TOBの対抗提案の下限価格、権利付最終日の見込みは筆者算出です。トヨタ自動車のTOB条件は2つの報道で一致を確認しました(11月5日の会社開示の本文は取得できず、4社の応募予定株式数は掲載を見送りました)。前回の自己株TOBの結果は同社の開示資料(4月28日)で確認しました。安田倉庫・サンケイRE投資法人の条件は各社の開示資料のみ、かどや製油・キーエンスの日程は1つの出典のみで確認しています。

本レポートは、生成AIを用いて公開情報を整理・執筆しています。

出典:各社の適時開示資料(トヨタ自動車、安田倉庫、サンケイリアルエステート投資法人)、日本取引所グループ、トレーダーズ・ウェブ、BigGoファイナンス、ロイター、時事通信、日本経済新聞、株探ニュース(Yahoo!ファイナンス掲載)、松井証券コーポレートアクション情報、TOBレーダー、株期待、M&A Online、JKN

本資料は公開情報に基づく市況の整理であり、特定の銘柄の売買を推奨するものではありません。投資判断はご自身の責任でお願いいたします。